



松 NAVI!



特集 彩

『白菊 伝説の花火師・嘉瀬誠次が捧げた鎮魂の花』

山崎 まゆみ/著 小学館 (575ヤマザ)

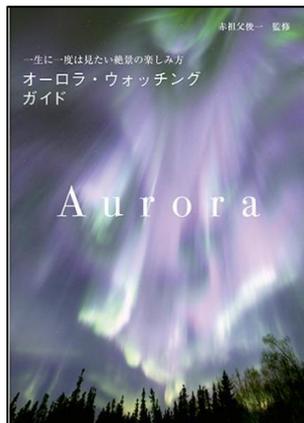
日本三大花火大会の一つ、長岡大花火大会では最初に慰霊のための花火「白菊」が打ち上げられます。花火師嘉瀬の生涯を取材し、「白菊」に込められた人々の思いを辿る感動のノンフィクションです。



『オーロラ・ウォッチングガイド 一生に一度は見たい絶景の楽しみ方』

赤祖父 俊一/監修 誠文堂新光社 (451オロラ)

様々な色のバリエーションで、夜空を美しく彩る不思議な自然現象オーロラ。いまだに謎の多いオーロラに関する基本知識と、現地で鑑賞するために必要な情報が詳しく紹介されているガイドブックです。



『銀色の絆』

雫井 脩介/著 PHP研究所 (Fシズク)

離婚をきっかけに、名古屋に移り住むことになった梨津子と娘の小織。小織はフィギュアスケートの名のあるコーチに見出され、本格的に練習をしていくことになるのだが…。フィギュアスケートを舞台に紡がれる絆の物語です。



関連図書

世界一美しい錯視アート トリック・アイズプレミアム 北岡 明佳/著 カンゼン (145キタオ)	はじめてのインテリアブーケ 渡辺 俊治/監修 KADOKAWA (627ハジメ)
京都和の色の歳時記 吉岡 幸雄/監修 JTBパブリッシング (291.6キョウ)	美しい日本の伝統色 森村 宗冬/著 山川出版社 (757モリム)
インド ラージャスターンのカラフルな街 石竹 由佳/著 産業編集センター (292イシタ)	黒いダイヤモンド ジュール・ヴェルヌ/著 文遊社 (953ベルヌ)

新着図書のご案内



『文房具の解剖図鑑 図解で楽しくわかる愛される文房具たちとその仕組み』

ヨシムラ マリ・トヨオカ アキヒコ/著 エクスナレッジ (589ヨシム)

あなたにはお気に入りの文房具がありますか？ ボールペン一本でも、ノック式・キャップ式・ツイスト式、インクは油性・ゲル性・水性、と種類は豊富です。この本ではペンやノートなどの身近な文房具を、書く・残す・切る・保存するといった用途別に、生い立ち・仕組み・使いやすさの理由などを分かりやすく解説していきます。



『ボクシング日和』

角田 光代/著 角川春樹事務所 (788カクタ)

初めて生で試合を見てから、その面白さのとりこになってしまった著者のボクシング観戦記。2014年から2017年までに観戦した試合の、ドラマと興奮に満ちた記憶が書き留められています。素人観客といいながら、会場の雰囲気や試合の細部まで観察している著者ならではの視点に注目。巻末にボクシングの基礎知識と選手プロフィールがついています。



『オールドレンズの神のもとで』

堀江 敏幸/著 文藝春秋 (Fホリエ)

2004年から2017年までにさまざまな媒体で発表した物語を一冊にまとめた短編集です。日常のふとした瞬間の話や、幻想的で不思議な世界の話、異国での謎めいた話、都市伝説のような話など、それぞれ独立した18のストーリーが収録されています。温かく繊細な筆致で描かれたストーリーは優しさに溢れています。ジャンルにとらわれない多彩な世界をお楽しみください。



名言の真実 出口 汪/監修 小学館 (159メイゲ)	間違いだらけのご臨終 志賀 貢/著 KADOKAWA (490シガミ)
河井継之助 近代日本を先取りした改革者 安藤 優一郎/著 日本経済新聞出版社 (289カワイ)	農業に頼らない病虫害対策 木嶋 利男/監修 学研プラス (626ノウヤ)
百年の女 『婦人公論』が見た大正、昭和、平成 酒井 順子/著 中央公論新社 (367サカイ)	すぐ使いこなせる知的な大人の語彙 1000 齋藤 孝/著 興陽館 (810サイト)

ヤング アダルト

Y・A世代の君へ

司書のイチオシ本！

Y・Aとは…13歳から19歳の世代

大人になりつつある若い人のこと。



『世界一清潔な空港の清掃人』

新津 春子/著 朝日新聞出版

(289ニイツ)

「世界で最も清潔な空港」に2年連続で選ばれている羽田空港の中で、著者の新津さんは清掃の仕事をしています。清掃の仕事が大好きと語る彼女が、25年以上「清掃のプロ」として仕事をする中で感じた思いや、普段大切にしている考え方を綴った1冊です。



『ひらく、ひらく「バイオの世界」』

14歳からの生物工学入門

日本生物工学会/編集 化学同人

(579ヒラク)

身近にあるバイオをあなたはいくつ見つけられますか？ 日本で初めて実現した青いバラも、酵素入りの洗剤が汚れを落としやすいのも、パンが発酵して膨らむのも、すべてバイオの力でした。日常生活の中にあるバイオをたくさん見つけてみましょう！

『風に恋う』

額賀 滯/著 文藝春秋 (Fヌカガ)



全日本コンクール出場の夢が破れて、中学を最後に吹奏楽をやめる決意を固めていた茶園基。ところが入学した高校に、吹奏楽を始めるきっかけとなった憧れの人、不破瑛太郎が吹奏楽部のコーチとしてやってきた。瑛太郎のもとで再び全国を目指すべく音楽の道に戻った基だったが、そこにはさまざまな試練が待ち受けていた…！ 栄光と挫折、そして再生を描いた胸が熱くなる青春小説です。



所蔵雑誌のご案内

月刊誌「Newtype」

KADOKAWA

アニメファンに長く愛され続けてきた雑誌です。カラーのビジュアルページが多く、アニメや漫画のみならず音楽や映画なども特集もあり総合カルチャー情報が満載です。

季刊誌「&home(アツドホーム)」

エフジー武蔵

インテリアや住まいに関心が高い方へおすすめ、暮らしを楽しむための雑誌です。家づくりの実践例や豊富なアイデアが大きな写真と共に掲載されています。

松川学習センター図書室で所蔵している、オススメ雑誌をご紹介します。

ぜひご利用ください！

こうしらんしょう ものごとのは(じまり) は(じまり) —
嚙矢濫觴 ~印刷・出版~



「活版印刷術」はルネッサンスの三大発明の一つとして有名ですが、その起源は中国や朝鮮半島にあります。印刷は、720年中国・唐の玄宗の時代に木版による文字印刷から始まったとされています。日本では770年に法隆寺「百万塔陀羅尼經」の印刷が完成し、現存する世界最古の印刷物として知られていました。ところが1966年韓国・慶州にある仏国寺釈迦塔で、751年以前の木版印刷と考えられる「無垢浄光大陀羅尼經」が発見されたことから、現在ではこれが最も古い印刷物であるというのが有力な説になっています。その後中国で11世紀半ばに膠泥活字、14世紀には木活字が発明され、朝鮮半島で13世紀初めの高麗時代に銅製の活字が作られて書物が出版されましたが、東洋では活版印刷は普及せず木版印刷が主流となって発達していきました。一方西欧では、1445年にドイツのマインツでヨハネス・グーテンベルクが鉛の活字を鋳造して活版印刷を行い、以降聖書をはじめ数多くの印刷物が作られるようになりました。日本で最初に近代的な活版印刷の実用化に成功したのは本木昌造です。本木はオランダ製の印刷機と活字を買い入れて研究に取り組み、片仮名の鉛活字を鋳造して1851年『蘭話通辯』を印刷・出版、のちに活版印刷所を設立し出版事業の基礎を築きました。

〔参考文献〕『本ができるまで カラー版』岩波書店編集部／編 岩波書店 (S022ホンガ)
『書籍と印刷の話 活字文化は滅びない』田中 薫／著 燃焼社 (002タナカ)
『まるごとわかる「モノ」のはじまり百科 4交通・メディア』山口 昌男／監修 日本図書センター (B03マルゴ4)

おはなしかい のおしらせ

図書室では、毎月おはなし会を開催しています。
予約は不要ですので、お気軽にご参加ください。

★おひざにだっこのおはなしかい

日時：毎月第1木曜日 午前10時30分から

※1月はお休みです。

場所：松川学習センター1階 和室

対象：3歳までのお子さんとその保護者

内容：絵本の読み聞かせ、手遊びなど

★おはなしロケット

日時：毎月第1土曜日 午前10時30分から

※11月は第2土曜日です。

場所：松川学習センター1階 和室

対象：4歳から小学生

内容：絵本の読み聞かせ、
テーマにそった本の紹介、工作など

松川学習センター図書室広報

松NAVI! 第4号 2018年10月1日発行



編集：松川学習センター図書室 〒960-1241 福島市松川町字杉内33 TEL 5 6 7 - 2 4 0 3

発行：福島市立図書館 〒960-8018 福島市松木町1-1 TEL 5 3 1 - 6 5 5 1

ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>

携帯ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/library/index.html>

※一部の機種の手持電話では、本サービスを利用できない場合があります

